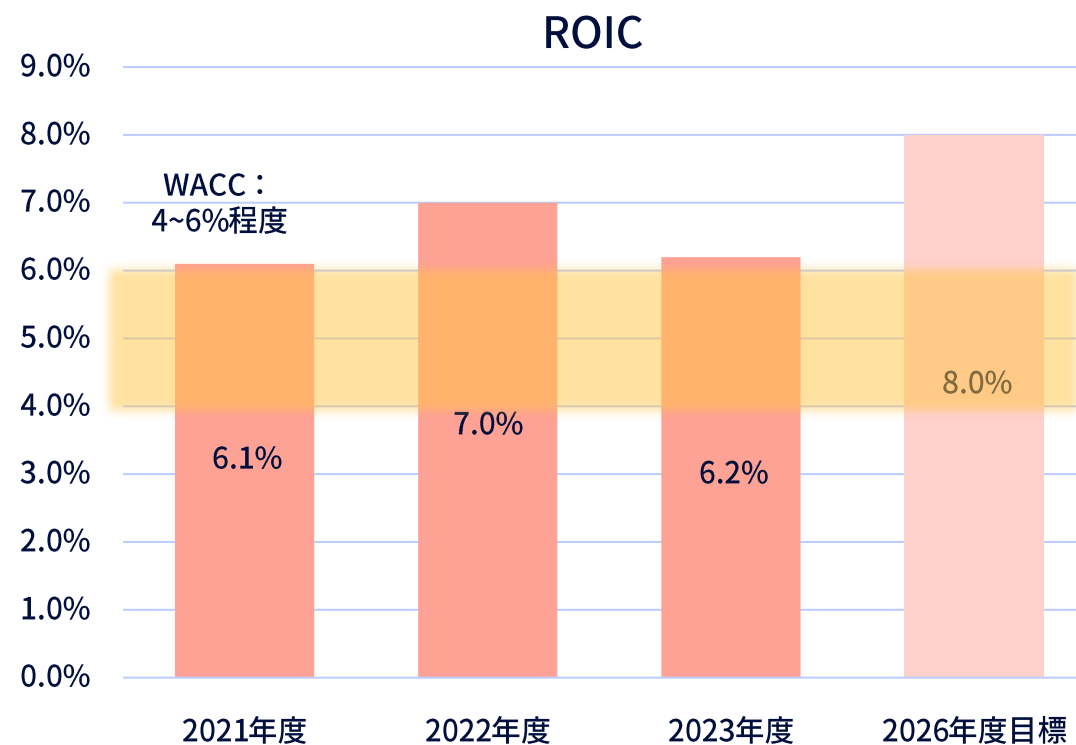
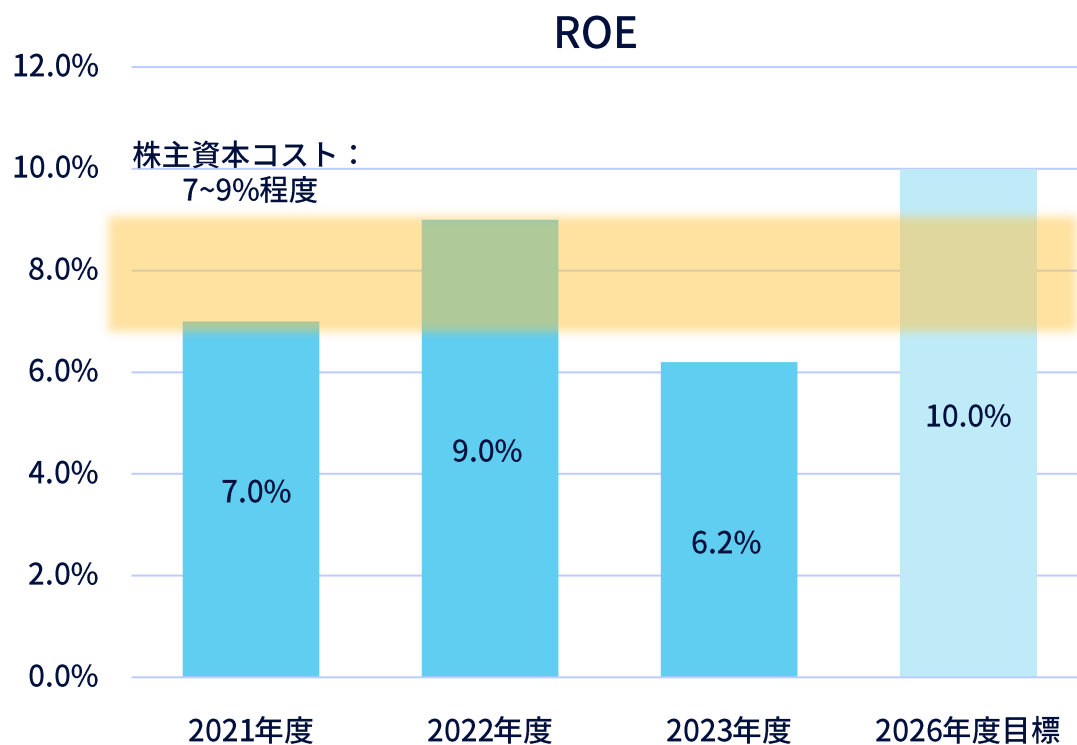


- CAPM※1ベースと市場期待水準の乖離等を考慮すると、株主資本コストは7~9%程度、WACC※2は4~6%程度
- 2023年度のROEは株主資本コストを下回る水準
- 2026年度の目標達成に向け、資本効率の一層の向上が課題



※1 CAPM：Capital Asset Pricing Model（資本資産価格モデル） ※2 WACC：Weighted Average Cost of Capital（加重平均資本コスト）

- 中期経営計画「PASSION 2026」の各施策を着実に実行し、企業価値の向上につなげる

## 資本効率の向上、株主還元の充実

- 社会・環境価値、経済的価値の2軸で事業評価し、ポートフォリオを高度化。ROICを活用し資本効率を改善・向上
- 成長投資やM&Aを通じ、資源配分を重点的に行う事業を強化、拡大。投資効率を意識して実施
- 収益の拡大により、株主還元を充実

ROEの向上、2026年目標 10%

## イノベーションの創出、安定的な利益の拡大、成長ストーリーの共有・理解深化

- イノベーションネットワークセンターと研究開発本部の両輪でイノベーションの創出を加速
- コア事業の持続的な成長。イソプレンタイ新拠点や活性炭など、大型投資の早期収益化
- GHG排出削減計画の着実な実行に加え、環境貢献製品が創出する市場価値を製品・サービス価格に反映
- 米国訴訟は解決
- 個別対話や経営説明会を通じて当社の成長ストーリーを共有し市場での理解深化に努める

PERの向上